

JANSI Annual Conference 2020 プログラム(案)

1. 開催日時と開催場所

(1) 開催日時 2020年3月18日(水) 13時30分～17時45分

(2) 開催場所 イイノホール (例年通り)

2. Annual Conference の開催目的

- ① 適切なテーマを設定して、会員及び関係者が自らの問題として考え、今後の取り組みの方向性を確認する一助とする。
- ② 「自主的安全性向上の取り組み」、「JANSI の役割」等について広くアピールする。

3. Annual Conference 2020 の基本構想

2020年4月から新検査制度が導入され、官民が一体となってさらなる安全性向上に取り組んでいくことになる。この制度においては事業者の自主的な安全性向上への取り組みが重要であり、リスクマネジメントの浸透が鍵となる。このリスクマネジメントのベースとなるのが、CAP活動であり、インプットが最も重要である。保修員、運転員、協力会社の方々など現場第一線が如何に潜在するリスクを捉えられるかで成否が決まる。

一方で、福島第一事故に伴い、長期間停止している発電所の再稼働支援の一環として、JANSI は事業者の協力の下、実機体感研修の取り組みを進めてきたところであり、現場感覚の体得に大きな効果を確認している。

今回は、リスクマネジメントの取り組みの実効性向上をテーマとして、リスク感受性などリスクマネジメントの重要な要素に焦点をおき議論を行うとともに、産業界及びJANSI の今後の活動を展望する。

4. 訴求対象

JANSI 会員(ミドル、シニアクラス)

国内外の原子力関係者 (エネ庁、規制委員会、関係自治体、大学、研究機関、等)

JANSI 関係者 (国際アドバイザー委員、国内アドバイザー委員、等)

海外機関 (INPO、WANO、EPRI、EDF、等)

在日大使館 (米、英、仏、等)、報道機関

5. プログラム

時 間	内 容 (登壇者候補 敬称略)
13:30-13:40 (10分)	開会宣言 原子力安全推進協会 Webster 会長
13:40-13:55 (15分)	来賓挨拶 原子力規制委員会 更田委員長 電気事業連合会 金井副会長
13:55-14:50 (55分)	招待講演 「はやぶさ 2 は如何にして難局を乗り越えたか」(仮題) 登壇者: JAXA 宇宙科学研究所 津田准教授 (はやぶさ 2 プロジェクトマネージャ) 内 容:はやぶさ 2 がどのようにリスクを回避し、難局を乗り越えたかについてご講演頂き、原子力発電におけるリスクマネジメントの展開へ向けての学びとする。
14:50-15:05	休憩 (15分)
15:05-17:35 (150分)	パネルセッション 【テーマ】 「リスクマネジメントの期待と実効性の向上について～現場におけるリスク感受性の向上～」 【short speech】 (6名 x10分=60分) ----- 【パネル討論】 (90分) 座 長：東京大学大学院 山口教授 討論者：(順不同) JR 東日本研究開発センター 楠神副所長 HALPIN LEADERSHIP INDUSTRIES Edward Halpin CEO 兵庫教育大学大学院 竹西教授 中国電力 清水 CEO 原子力安全推進協会 山崎理事長 テーマは「リスクマネジメントの実効性向上」とし、招待講演を参考に、他産業、国内外の有識者等関係ステークホルダを交えて、リスク感受性の向上などについて議論するとともに、産業界と JANSI の今後の活動を展望する。
17:35-17:45 (10分)	閉会挨拶 原子力安全推進協会 山崎理事長